

よく考え、進んで行動できる、心身共にたくましい児童の育成  
＝ 強く 明るく 考える ＝

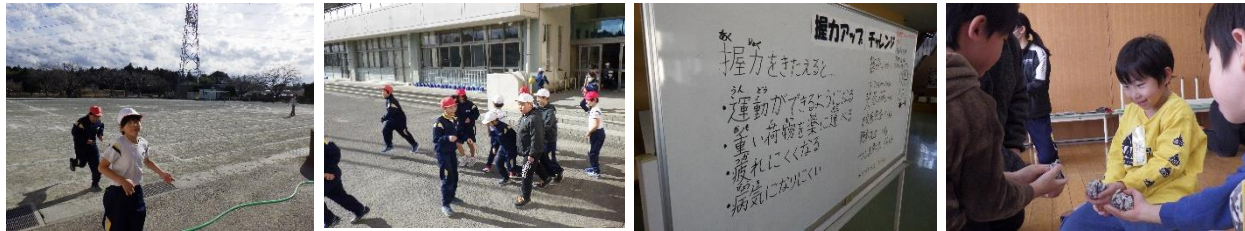


稲敷市立高田小学校  
令和7年12月15日発行 No8  
TEL 029-892-2242  
FAX 029-892-3794  
<https://www.inashiki-c.ed.jp/page/dir000052.html>

## 寒さに負けず 心身共にたくましく

2025年も残りわずかとなりました。師走の寒さの中でも子どもたちは元気に過ごしています。

休み時間になると「待ってました！」と校庭に駆け出すたくさんの子もたち。順番を待ちながら校庭の遊具で遊んだり、異年齢でチームを組んでサッカーをしたり、その時の雰囲気(?)でできた集団で鬼ごっこをしたり。ちょっと前には寒さに負けない虫を探している姿もありました。



時々トラブルも起こりますが、独り占めでなく、一人ぼっちでもなく、集団の中で人のかかわり、折り合いの付け方などを自然と学ぶことができる・子どもたちにとって休み時間は、とても貴重な時間です。そして、寒さに負けない体づくりにも打って付けです。



先週は、運動委員会によって「握力アップチャレンジ」が行われました。これは、体力テスト(5月実施)の結果から見えてきた、高田小児童の足りない部分を補うための体力アップキャンペーンです。昨年度の「投力アップチャレンジ」に続いて子どもたちの手によってつくられています。握力計で測定したり、つい力をこめてしまうゲーム(右上の写真:新聞丸め)をしたりして、握る力に関心をもってもらおうとしました。

高田小学校では「健康で安全な生活を送る児童の育成」に向けて「体育の授業の改善と運動量の確保」を手立てとして掲げています。今年度はブロック(低中高)で授業を展開し、運動が楽しくなる授業づくりに努め、一人一人の運動量の確保を重視して日々取り組んでいるところです。みんなが体を動かすことのよさを実感し、生涯にわたって運動に親しもうとする態度が少しずつ育つよう仕向けていきます。

年の瀬を迎え、これからますます寒さが厳しくなります。子どもたちが元気に登校できるよう、そして、充実した冬休みとなるよう、引き続きご家庭のご協力をお願いいたします。

## 江戸文字体験 (市制 20 周年記念事業)

11月20・27日および12月4日に鶯春亭(おうしゅんてい)梅八さんを講師に、江戸文字体験を行いました。江戸時代から続いてきた江戸文字の技法を直に体験する機会となりました。

11月20日は低学年、27日は高学年での体験活動となりました。実際に書く前に梅八さんの実演を見させていただきました。児童は食い入るようにのぞき込み、初めて見る筆の動きや完成した作品に驚きの声を上げていました。活動自体は、少人数のローテーションで行い、梅八さんの指導が入りやすいように工夫しました。どの学年も楽しく、試行錯誤を繰り返しながらお手本通りの文字に挑戦していました。

12月4日は自分の作品づくりに挑戦しました。この日は、書き上げた作品に絵を入れる活動も加わり、いよいよ本格的な活動になりました。本来は和筆で色を塗ると、和風の感じが出るということでしたが、今回は図工で使う洋筆を使用しました。それでも、それぞれが考えた図柄や色遣いが、その子ならではの工夫が見られる味わい深いものになりました。

最後に、梅八さんから児童全員にそれぞれの名前が書かれた色紙をプレゼントしていただきました。受け取る児童の嬉しそうな顔を見て、この企画を実施してよかったなと、こちらも嬉しくなりました。今回の体験を通して、自分たちのすむ地域にはいろいろな特技を持った方が住んでいること、江戸文字職人という職業があることなど、社会をみる視野が広がったのではないかと思います。



## 成田空港周遊フライト体験

11月25日(火)に6年生は成田空港周遊フライト体験に参加してきました。この体験は稲敷市の他の小学校児童も参加しており、大々的に行われました。新聞にも、稲敷市の6年生が航空業界の仕事を体験する特別授業として、この周遊フライト体験が紹介されております。

(※茨城新聞クロスアイ Web 参照)

当日はあいにくの天気でしたが、空港の施設見学から旅客機への搭乗、周遊フライト体験と予定していたすべての活動を無事行うことができました。

雲の上での食事やアナウンス体験、空港でのお買い物など6年生は楽しみながら、航空業界の仕事について学ぶことができたのではないのでしょうか。



いろいろな職業の方々がこの世界をささえていますね。